

■ CASBEE-不動産 評価マニュアル（2024 年版）正誤表・追加

・「PARTⅢ. 建築環境 SDGs チェックリスト」のページについての正誤表になります。

ページ	正	誤
P168	7.1 エネルギー使用量を削減する 取組内容 ・ 1.1 エネルギー使用・排出原単位（計算値）、 1.2 エネルギー・排出原単位（実績値）、および 1.3 省エネルギー（仕様評価）を援用している。	7.1 エネルギー使用量を削減する 取組内容 ・ 1.1 エネルギー使用（計算値）、1.2 エネルギー（実績値）評価を援用している。
P168	7.2 省エネ性能の高い設備機器・システムを採用する 取組内容 ・ 1.1 エネルギー使用・排出原単位（計算値）、 および 1.3 省エネルギー（仕様評価）を援用している。	7.2 省エネ性能の高い設備機器・システムを採用する 取組内容 ・ 1.1 エネルギー使用・排出原単位（計算値） を援用している。
P168	7.3 パッシブデザインに取り組む 取組内容 ・ 集合住宅は 5.1.1～5.1.3、それ以外は 5.1 ～5.3 を援用している。	7.3 パッシブデザインに取り組む 取組内容 ・ 5.1.1～5.1.3 の評価を援用している。
P170	7.6 エネルギーを管理する 取組内容 →加点できる点数は最大1点であり、点数の 合計が3点を上回ることではない。	7.6 エネルギーを管理する 取組内容 ・ 加点できる点数は最大1点であり、点数の 合計が3点を上回ることではない。
P175	11.1 ローコスト化、ランニングコストの低減 に向け、環境性能を確保する 取組内容① ・ 集合住宅は 5.1.1.1 自然採光、5.1.1.2 昼光 利用設備、それ以外は 5.1.1、5.1.2 を援用し ている。	11.1 ローコスト化、ランニングコストの低減 に向け、環境性能を確保する 取組内容① ・ 5.1.1 自然採光、5.1.2 昼光利用設備を援用 している。
P176	11.3 雨水・雑排水を利用する 解説 →雨水、雑排水の利用に関する取組を評価す る。	11.3 雨水・雑排水を利用する 取組内容 ・ 雨水、雑排水の利用に関する取組を評価す る。
P179	12.7 躯体材料においてリサイクル材を使用す る 解説	12.7 躯体材料においてリサイクル材を使用す る 取組内容

P179	12.8 躯体材料以外においてリサイクル材を使用する 解説	12.8 躯体材料以外においてリサイクル材を使用する 取組内容
P182	15.1 敷地内を積極的に緑化する ・ 建築が生物環境の保全と創出に関して配慮しているかを評価する。 取組内容 ・ 4.1 生物多様性の向上①評価・認証の取得、 ②取組み表による評価 1)自然資源の保全 4)トータル の緑地規模を援用する。	15.1 敷地内を積極的に緑化する ・ 建築が生物環境の保全と創出に関して配慮しているかを評価する。 ・ 4.1 生物多様性の向上①評価・認証の取得、 取組み表による評価 1)自然資源の保全 4)トータル の緑地規模を援用する。
P182	15.4 地域資源の活用に取り組む 解説	15.4 地域資源の活用に取り組む 取組内容

以上